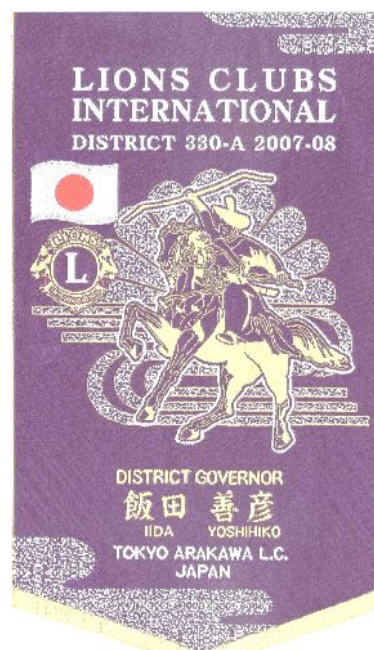


<2007—2008年度>

第4回
キャビネット会議
資料集【3】

委員長等 年次報告書



2008年6月18日（水）

東京プリンスホテル

ライオンズクラブ国際協会

330—A地区

エクステンション・リテンション委員会 年 次 報 告 書

委員長 小島 清隆

○ 今期のガバナー方針として、2クラブ結成目標というのをクリアーした

東京中央南 L,C	2007年9月15日(土)	結成式
〃	11月18日	チャーターナイト
東京フロンティア L,C	2008年5月14日	結成式
〃	7月21日	チャーターナイト予定

○ 大手町 L,C 八王子 L,C の解散申し出有り

○ 今期の委員会重点目標を下記の様にかかげ行動した

- ・ ガバナーの諮問を受け、次世代型ライオンズクラブ誕生の為の施策を行っていく
- ・ 新クラブ結成の重要性をガバナー諮問委員会公式訪問等で協力要請する
- ・ 重点地区を設定してクラブ内に EXT 委員会の設置を要請する
- ・ 周年行事最大のアクティビティは EXT との認識を促す
- ・ 複合地区及び関連委員会との連携
- ・ 結成会、CN 等セレモニーの指導
- ・ ユニバシティ L,C 女性クラブの結成促進

○ 複合エクステンション委員会にて、2008. 2. 1 初のエクステンションセミナー開催 成功裡に終了 近年 A 地区の実績を披露しながら、EXT の必要性和意義・方法なども発表 その様子はライオンニュースに掲載された

提 案

この委員会は性格上、次期に経験者及び E X T 担当継続者を送り込む必要が有ると考えます。

2007/7～2008/6

環境保全委員会年次報告書

委員長 L、風間 昭

① 第1回環境リーダー養成ステップアップセミナー

07' 11月14日 開催 於:国立オリンピック記念青少年総合センター

国際会議室 PM1:00～5:00 98名

② 国連大学提案の環境教育者育成プロジェクト共同にて検討

③ 第4回 環境リーダー養成講座開催

08' 3月11日 於:国立オリンピック記念青少年総合センター

国際会議室 PM1:00～5:00 118名

④ 3月17日 キャビネット会議にて 第53回、第54回

年次大会承認事項に基づき

1、環境保全委員会の常設

2、環境保全委員会委員の一部留任

3、「330-A地区環境問題アクティビティプログラム」の継続

以上の事項を確認の上、承認次期に申し送る

⑤ 08' 4月15日 「視覚障害者コンサート」 日比谷公会堂にて開催、設営協力

⑥ 第54回 330複合年次大会 5月11日に於いて

「ライオンズクラブ国際協会、330複合地区環境憲章」

決議採択される

尚、8複合協議会議長会議に於いて 8複合地区大会にて各複合地区

環境憲章を採択する合議がなされた

⑦ 「地球環境に関する諸団体のリスト」 小誌作成し、年次大会

分科会にて配布及び各クラブへ送付

⑧ 「環境講師リスト 各クラブ環境アクティビティ等報告書」 作成、

各クラブへ送付予定 (6月上旬)

環境リーダー養成講座 収支報告書

日時：2008年3月11日（火）

場所：国立オリンピック記念青少年センター

予 算	収 支	対 比
収入の部		
登録料 3,000 円×100 名 300,000	118 名 354,000 ドネーション 114,070 L山浦 10,000 L中谷 10,000 L風間 94,070	+54,000 +114,070
合 計 300,000	468,070	+168,070
支出の部		
1. 会場費 49,120 国際会議室 47,600 特別室（1） 1,520	会場費 49,120	± 0
2. 資料印刷費 75,600	資料代 260,405 活動報告書① 75,600 活動報告書② 168,000 振込み料 525 ライオン誌 16,200 振込料 80	+184,805
3. 雑費 10,710 飲み物 85 円×120 本 10,200 消費税 510	雑費 18,915 講師手土産 6,360 飲み物 12,240 振込費 315	+8,205
4. 事務用品費 14,515 終了証台紙 120 枚 12,000 消費税 600 認定証用紙 1,100 消費税 55 ラミネートフィルム 760	事務用品費 13,930 終了証台紙 12,600 認定証用紙 1,050 ラミネートフィルム 280	-585
5. 講師費 137,620 講演料 100,000 交通費 新幹線 37,380 小田急 240	講師費 125,700 講演料 100,000 交通費 新幹線 17,840 タクシー 1,860 宿泊費 6,000	-11,920
6. 予備費 12,435		-12,435
合 計 300,000	468,070	+168,070

以上の通り報告いたします。

2008年5月27日

2007-2008 環境保全委員会

委員長

環境リーダー養成講座 収支報告書

日時：2007年11月14日（水）

場所：国立オリンピック記念青少年センター

予 算	収 支	対 比
収入の部		
登録料 3,000円×80名 240,000	98名 294,000	+54,000
ドネーション 0	風間委員長 5,915	+ 5,915
合 計 240,000	299,915	+59,915
支出の部		
1. 会場費 憲政会館 40,000	オリンピック 青少年センター 47,600	+ 7,600
2. 資料代 「不都合な真実」		
①教本 1,200×80冊×90% 86,400	120冊 136,080	+49,680
②DVDレンタル料 100,000	105,000	+ 5,000
3. ドリンク 85円×100本 8,500 消費税 425	10,710	+ 1,785
4. 予備費 4,675	教本代 振込み料 525	- 4,150
合 計 240,000	299,915	+59,915

以上の通り報告いたします。

2007年12月7日

2007-2008 環境保全委員会

委員長

風間 和

今期、飯田ガバナーの命を受けて、新しく出来た委員会を担当致しました。事後処理特別委員会の委員は、副委員長；鈴木定光L(江東南LC)、加藤凱正L(代田橋LC)、委員；宮本慶文L(荒川西LC)、小泉重光L(板橋西LC)、新井 衛L(練馬LC)、そして、委員長；L脇村孝友(晴海LC)の6名と、キャビネット副幹事の小斉太郎L(六本木LC)、キャビネット副会計の内田 篤L(麻布LC)がご協力をして下さいまして、8月23日の第1回委員会から5月22日まで12回の委員会を開催致しました。

事後処理特別委員会の委員は誰一人として、経理・会計が専門職ではありませんでした。が、委員一人ひとりの特殊な考え方、特殊の書類・帳簿の見方等で、疑問点を見つけることが出来ました。

その疑問点を委員長が代表となり、当時の担当幹事・会計・委員長に、手の空いている委員と共に会い、疑問点を納得するまでお聞きし、一つずつを解決して行きました。

又、元ガバナーへの質問・依頼については、飯田ガバナーにお願い致しました。

不愉快な思いをさせたメンバーもいらっしやったと思いますが、この年次報告書の中で改めてお詫びを申し上げます。又、そのメンバーのお陰で事後処理特別委員会が順調に進んだことにお礼を申し上げます。

連絡をしてもどうしても連絡の取れないメンバーもおられ、未解決のまま今年度が終了する件もありますのが少々残念であります。

又、クラブより当時の資料等を送って頂き精査も致しました。そして、当時の会報を見せて頂くため、当時のPR情報委員会の委員長・副委員長の方には、ご無理を言って会報を送って頂き大変お世話になりました。

当時の会報を見ると、キャビネット・各委員会のアクティビティした内容が、詳細に掲載されているので良い資料になりました。お借りした会報は来期に入って必ずお返し致します。

12回の委員会を通して感じたことは、地区運営費を予算より少なく出費したガバナー、予算より多く出費したガバナーとその期により千差万別でしたが、いずれの期のガバナーも、1年間一生懸命に330-A地区のためにご苦労をされた様子は、キャビネット事務局にある書類・帳簿等で理解が出来ました。

協賛金・支援金等が多く集まると、お金は人の心を惑わす魔物と言われるように、時としてメンバーからの浄財であることを忘れがちになりやすいのです。(メンバーの善良なる心からの協賛金・支援金であること。)

ライオンズクラブは奉仕の団体です。常に奉仕の心を忘れることなく、地区運営そして委員会運営をして行かなくてはならないと思います。

その期のキャビネット幹事・キャビネット会計・各委員長を選んだのは、その期のガバナーです。そのガバナーを選んだのは誰でしょうか？ 選んだのは我々メンバーです。

選ぶ者・選ばれる者は、常に奉仕の心を胸にしっかりと持って、地区のガバナーを選び、地区の運営に携わって行くことが重要であると考えます。

今期の事後処理特別委員会の目的は、「キャビネット主催の過去のアクティビティの調査。」 主旨(ガバナー基本方針)は、「ライオンズクラブは、単年度事業により、その運営がなされ、特別会計の資金使途・剰余金の取り崩しについては、その目的以外に流用できないことになっています。キャビネット主導で行った過去の海外アクティビティに関する事柄等、その後の事後管理の現状と情報開示ならびに半期毎の会計など解決方策の立案。」とされていきました。

第1回・第2回・臨時第1回・第3回のキャビネット会議に毎回委員長報告事項・審議決議事項等を提出し、取上げて頂いたので、事後処理特別委員会の活動の様子が、ある程度330-A地区のメンバーには理解して頂いたこととは思います。

第3回のキャビネット会議で事後処理特別委員会が提案した案件が承認され、第54回330-A地区年次大会で決議され、ガバナー基本方針の「その後の事後管理の現状と情報開示ならびに半期毎の会計など解決方策の立案」に、100%までとは行かないが、それに近いものが出来上がったことは事後処理特別委員会の意義が報われたと思います。今後は文言について修正をされて、より良きものが立案されて行くことを願います。

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体と言われています現在、第54回330-A地区年次大会で今回決議された立案が無くても、全ての運営が厳正に且つ又正確に処理され、メンバーの一人ひとりが簡単に理解出来る報告書が、キャビネット事務局に保管をされるべきではないかと思います。

最後に、メンバー各位のご協力に感謝とお礼を申し上げます。5ページ 事後処理特別委員会の年次報告書と致します。

年次報告書

330-A地区緊急対策委員会

委員長 L 梶原正和

330-A地区今期緊急対策委員会は以下の4つのL飯田善彦ガバナーの諮問事項について実行して参りました。

- (1) ライオンズ緊急対策マニュアルの作成
14ページに及ぶ何時発生するかわからない東京直下型地震に対して委員会として災害への対応を(3つの柱と11の要綱)にわかりやすく作成し各クラブへ1冊ずつお送り致しました。
- (2) 複合地区との連携
330-A地区緊急対策委員会において援助活動を行う際の基地の目印として旗のぼりベスト等の件につきまして私ども委員会の考えを複合地区緊急援助委員会にぜひ今期中にABC地区で統一した考え方行動実行が出来ることの目的で使用する為に制作の依頼した結果委員会で取り上げて戴き制作(費用)を複合地区ガバナー協議会の承認を得て緊急援助金から負担していただく事になりました。(おかげさまで複合地区内の連携統制が出来ました。)
- (3) 被災現地ライオンズクラブの実態調査
災害発生後2日目の7月18日午後6時キャビネット事務局に於いて新潟中越沖地震災害について緊急に委員会を開催し各クラブに募金活動のお願いを致しましたところ総額580万の義援金があつまりましたので実態調査を兼ねまして現地333-A地区ガバナーキャビネット事務局に贈呈しその足で被災地や仮設住宅などの視察を致しましたL飯田善彦ガバナーL大田成正会計緊急対策委員会7名で車2台に分乗し実動してまいりました。
- (4) 東京消防庁認定第6回上級救命技能講習会
3月25日午前9時より午後5時まで麹町消防署地下1階にて講習会を開催致しました。新規受講者54名 更新者24名 合計78名の方が上級救命技能認定証を授与されました。特に今期の良かった点は人形以外に2人1組になり直接人体に触れてお互いに接しされた事が実践に近く本当に役にたった講習会でした。
- (5) 以上の諮問事項の総まとめと致しまして最終委員会を(6月7日)高尾山薬王院にて330-A地区および複合地区の安全祈願をして次期へ引き継ぎたいと思います。

年次報告

会計監査 吉田 實

1年間会計監査として職務を遂行するに伴い、気がついた次の2点につき、報告いたします。

1. 業務監査の必要性

現行のキャビネット組織表では、監査は会計監査のみを対象としております。現在、企業に於いては、その社会的責任の高まりに伴い、コーポレートガバナンスが強く求められております。当330-A地区に於いても、5千人余の構成員と年間1億円近い予算で毎年奉仕活動(事業)を実施しております。その社会的責任も又大きいものと考えます。従ってそのライオンズクラブが個々の会員に対し、社会の為に行うそれぞれの奉仕活動—環境保護、緊急支援、青少年育成、地域社会への貢献等々—がどのように適正に実施されているか、又それがどれほどの成果が上がっているかを監査報告(業務監査報告)することが会計監査報告と共に重要と考えます。

2. 外部監査の必要性の是非

現行の経理(会計)規定第22条によれば、本会計の監査は会計監査(人)による内部監査と共にライオンズクラブと利害関係のない者による外部監査で行わなければならないとあります。

ライオンズクラブの会計は新公益法人会計基準に準じて行うことになっておりますが、外部監査の件については、次の点から観て必要性が薄いのではないかと考えます。つまり、奉仕団体であるライオンズクラブの性格から馴染まない。又内部監査は会員の中の会計の職業的専門家が純粹に会計の立場から真剣に、かつ責任を担って監査していること。更に費用効果の面から見てもバランスが取れていないように思える。しかしながら、外部監査を全否定するものではありません。何か問題が発生し、必要とされる時は依頼することとすればよい。つまり、現行の「---しなければならない」いう、強制規定ではなく、「---することができる」という、出来る規定としておけばよいと思います。

以上の2点とも経理規定の改定となるため、年次大会での承認事項となり、即実施とはなりません。早急に検討していく課題ではないかと思われます。

ライオンズクラブ国際協会 330-A地区

ガバナー L 飯田善彦 殿

【この一年間を振り返って】

飯田ガバナーの下、リジョン・チェアパーソンを仰せつかって早一年、間近に迫って参りました。

当初は、訳も分からずのスタートであり、周囲のLメンバーの協力を得て辛うじて勤める事が出来そうです。

残された一ヶ月間精一杯頑張って参り度思っ降ります。

特に、印象深いものはCSFⅡ募金活動の“世界の多くの人を失明から救おう”というテーマで錦糸町駅前での雨の中の支援街頭募金活動をLメンバーと共に遣り遂げた事です。

又、明治座でのチャリティー特別観劇会“川中みゆきショー”及び日比谷公会堂での“視覚障害者の視覚障害者による視覚障害者のためのコンサート”そして、第54回年次大会と、この様な大きなイベントを成功裡に終了させた事は、飯田ガバナーの【感動の共有】のスローガンの基で各クラブが互いに競い合った事が非常に印象的でした。

どうやら、CSFⅡの三年間の目標額も達成出来たという報を聞いて本当に嬉しく思います。

今後も、この様な体験を生かしガバナー方針の下に次の世代にバトンタッチが出来る様に頑張っ参り度思っ降ります。

有難う御座いました。

平成 20 年 5 月 26 日

第4R リジョン・チェアパーソン

L 伊 豆 作 次 郎

第5回ライオンズクエスト・セミナー「収支報告書」

2007年～2008年度ライオンズクラブ国際協 330-A 地区

ゲスト青少年育成委員会

日時 2008年3月3日(月) 12:00～17:00

場所 憲政記念会館 講堂

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
【会場用品】 横断幕看板 会場正面 (和田看板 25,000 値引 10,000)	15,000	当日会費 1,000 × 115 名	115,000
【参加者用飲料】 ウーロン茶 100 本	5,000		
【講師謝金】 (交通費含む) 原田氏 50,000 大塚氏 10,000 (交通費) 田川氏 20,000 (青少年育成支援フォーラム)	80,000		
【資料代】 資料代 @150 × 100 名	15,000		
小 計	115,000	小 計	115,000
【会場費】 憲政記念会館 講堂利用料 (マイクワイヤレス) 3 本含む	① 51,360	キャビネットより支払	51,360
小 計	51,360	小 計	51,360
合計	166,360	合計	166,360



ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
薬物乱用防止委員会年間収支報告書

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【会長幹事担当委員セミナー】 セミナー受講料 @2,000円×182名	364,000円	講堂使用料	70,620円
		センター資料代 @500円×182名	91,000円
		お茶代 @85円×216名(×5%)	19,278円
		看板代(岩井工房)	31,500円
【11/16 第11回新入社員研修会・第9回更新講座】 セミナー受講料 @4,000円×200名 新規 67名 新規当日受付 2名 更新 124名 更新当日受付 5名 198名 新規 28番 小野塚いづ子 受付後早速 更新受付 4R~7R45番荒川LC野村浩二	800,000円	講堂使用料	80,250円
		開催前ミーティング (霞ガーデン)	4,380円
		センター資料代 @3,000円×198名	594,000円
		お茶代 @85円×267名(×5%)	23,829円
		同振込み手数料	105円
		看板代(岩井工房)	52,500円
		提供資料印刷代(厚生労働省)	17,850円
【4/3更新補講講座】 セミナー受講料 @4,000円×21名 荒川LC野村Lは11/16の補講 の席に4,000円預かり済 実際の受講者は22名	84,000円	会場使用料	0円
		区役所御土産代	1,575円
		センター資料代 @3,000円×22名	66,000円
		お茶代 @125円×50名(×5%)	6,250円
		看板紙代	1,890円
		看板制作謝礼(熊本ZCへ)	5,103円
		藤村女子高校・人王子第5中学校 3DT書き・リーフレット代	10,000円
【その他】 再発行申請代 @2,000円×1名 東京スバルLC 谷下隆利 2,000円預かり済	3,000円	センター再発行代	2,000円
		宛名シール発注代	29,925円
		委員会活動記録 ビデオその他発注代	100,000円
		(剰) 郵政省せい薬乱用防止センターへ 委員会より賛助金として寄贈	42,945円
合 計	1,251,000円	合 計	1,251,000円

委員長 黒田幹雄 (印) 副委員長 L-片江 隆雄 (印)
副委員長 金子将 (印) 副委員長 L-三輪 隆雄 (印)

2007-2008年度年次報告書

330-A地区

2008年6月6日

ガバナーL飯田善彦 様

2R リジョン・チェアパーソン

L 本橋 光一郎

(東京銀座LC)



当方が今期行なった活動について次の通りご報告いたします。

1. 15クラブへの表敬訪問、ガバナー方針の伝達

2Rには、中央区の13クラブ、台東区の1クラブ、八丈島、小笠原の計16クラブが属しております。小笠原LCだけは訪問できませんでしたが、ほかの15クラブを訪問し、ガバナー方針の説明、協力の要請等を行ないました。今期は、リジョン・ゾーンの再編成の初年度にあたり、リジョン内の融和を心がけました。

2. ライオンズデー・世界障害者デーのアクティビティー実施

飯田ガバナーからの呼びかけに応じ、2Rは10/8ライオンズデー、12/9世界障害者デーのCSFⅡ街頭募金キャンペーンを実施しました。いずれも1Rとの合同であり、1RRC伊賀Lには絶大なるご協力・ご指導をいただき感謝しております。上記の合同アクティビティーのほか、各クラブで独自の創意工夫をこらしたCSFⅡアクティビティーが行なわれました(銀座LCも12/9に銀座松屋で行ないました)。

3. CSFⅡ特別セミナーの開催及びCSFⅡ募金の成果

2Rでは、10/4にCSFⅡ特別セミナーを開催し、各クラブ会長・幹事・会計の方々にCSFⅡの意義を周知徹底させ、その後のアクティビティー実施、募金活動につなげていくことができました。この特別セミナーには、山浦CSFⅡナショナルコーディネーター、330-A地区及び複合地区のCSFⅡ委員会の全面的な協力を得まして、本格的なセミナーを開催することができました。また、募金・献金活動について、2Rではモデルクラブとして多数クラブになってもらうことができ、目標200%を達成したクラブ(八重洲、尾張町など)も出ました。銀座LCも今期モデルクラブとなり、2R全体としても大きな成果を上げることができました。

4. その他

第54回年次大会において、運営・協力、政策・会則等分科会の委員長を務めました。大会決議案件6件のすべてにつき決議が得られ、重責を果たすことができました。皆様のご支援・ご協力に感謝いたします。

以上

指導力育成委員会 年次報告書

指導力育成委員会

委員長 L吉澤 隆志

【今期実施事項】

《刊行物関係》

「メンバーズ・マニュアル」の改定

- ・会合における運営の円滑化を狙って議事運営規則（4頁）を追加した。
- ・会則付則の改廃に合わせて内容を修正した。

《セミナー関係》

○「次世代リーダー育成セミナー」

3月12日（上野）、14日（立川）、18日（新宿）と3会場にわけて実施。参加総数80名。
質疑応答の時間が少なかったのは残念だったが、今後も継続の必要がある。

○「第一副会長奉仕活動勉強会および講演会」

4月4日憲政記念館にて開催。キャビネット各事業委員会より、次期の準備ができるようにアクティビティについての示唆を提供する予定であったが、初めての試みだったので、打合せ不十分のため現在の事例提示が多く、次期のアクティビティ策定の上でヒントになるような提案ができるよう各委員会との打合せを前提に今後も必要な勉強会であると思われる。

○「次期三役セミナー」

6月3日上野「東天紅」にて開催。クラブ運営上の具体的な内容に対する要望が多いので、実務中心のセミナーが望ましい。

【指導力育成委員会における今後の問題点】

現在ステータスが問題となるのは、メンバー各位のライオンズクラブに対して誇りが持てない部分があるので、下記を参考に指導力育成を通して具体的に支援する必要がある。

- ① ZC、RC、委員会等キャビネットからの各クラブに対する具体的な支援の強化。
- ② メンバーを通して、地域社会に対する指導力を強化するためのメンバーに対する具体的な働きかけ。
- ③ 各クラブの三役（執行部）の実践的指導力のアップを図る支援の強化。
- ④ ライオンズクラブの基本であるアクティビティに対する、各事業委員会を通しての各クラブへの実態に合わせた具体的なアドバイスの提供。

以 上